■背景・現状

- 〇市の公共交通は、「鉄道」「路線バス」「るのバス」「タクシー」「デマンド型交通」などが市民生活の 足として重要な役割を担う
- 〇「人口減少・少子高齢化」「2024年問題」「環境問題」など、公共交通を取り巻く環境は大きく変化
- 〇市では、「公共交通機関の維持・確保」「交通弱者対策」として、ワークショップや実証実験などを実施
- ○持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を目的に、「あきる野市地域公共交通計画」を作成中

◆公共交通の例





るのバス

チョイソコあきる野

■課題

- ○人口減少・少子高齢化の進行などを踏まえ、まちづくりと連携した交通ネットワークの構築が必要

- ○2024年問題を背景に、バス運転手の確保など、バス路線の維持・確保に向けた早急な対応が必要。
- 〇カーボンニュートラルの推進に伴い、環境へ配慮した車両の導入や運行方法の検討が必要
- ○道路幅員や道路勾配などの地域特性に応じた交通対策の検討が必要

■るのバス運行ルートの再編に係る経過

- ○様々な課題へ対応を図ることを目的に、交通事業者と協議
- ○再編方針、再編ルート案について協議(令和6年度第4回地域公共交通協議会)



- ○地域ごとの最寄り鉄道駅への接続強化
- ○路線バスと競合するルート又は利用が少ない時間帯の便などを再編対象
- 〇カーボンニュートラルや2024年問題などの社会情勢の変化に対応
- ○再編により公共交通空白地域となるエリアへの代替手段の導入
- ○意見交換会の実施(草花台パークハイツ方面、いきいきセンター方面)



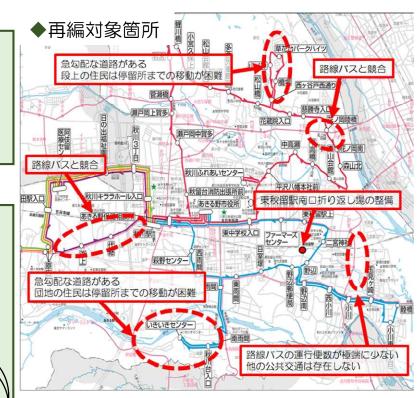
◆意見交換会における主な意見

【草花台パークハイツ方面】

- ○運賃を上げてでも、るのバスの運行を維持 ○運賃を上げてでも、るのバスの運行を維持し してほしい
- ○普段るのバスを利用しているため、るのバ ○小型車両で定時定路線の運行ができないか スがなくなるのは困る
- ○小型車両で定時定路線の運行ができないか

【いきいきセンター方面】

- てほしい
- ○具体的なデマンド型交通の使い方が知りたい



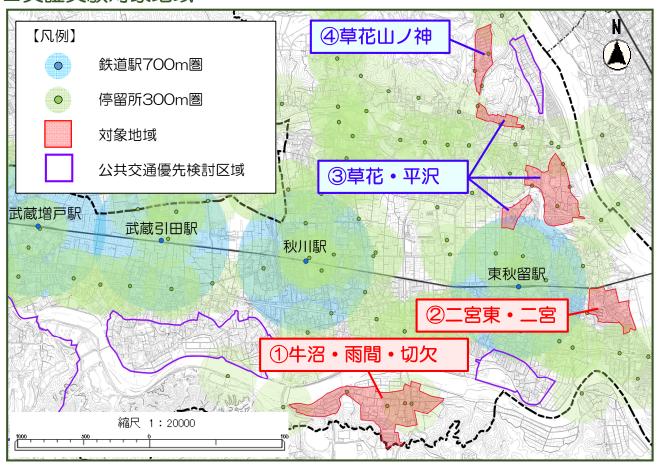


るのバス運行ルートの再編から地域特性に応じた移動手段の検討へと方向性を転換



新たな実証実験を通じて、様々な課題への対応を図り、誰もが利用しやすい持続可能な地域公共交通の実現を目指す

■実証実験対象地域



■実施方法

実証実験を2回に分けて実施

- ·第1弹(①牛沼·雨間·切欠地域、②二宮東·二宮地域)
- ・第2弾(③草花・平沢地域、④草花山ノ神地域)
- 〇運行方法

デマンド型交通の車両を1台増車し、現行の運行計画に基づき運行

○実施期間

第1弾:令和8年4月から令和 9年9月まで第2弾:令和9年4月から令和10年9月まで

○その他

るのバスの運行を継続して実施

■検証項目(参考)

- ○デマンド型交通の利用者数の推移
- ○各地域におけるるのバスの利用者数の推移 (乗降調査の実施)
- 〇実証実験前後での地域住民の意識の変化 (アンケート調査の実施)



◆参考(今後の主なスケジュール)

	【協議会】方向性の承認(本日)
	運賃意見募集(10~11月)
R	【運賃協】(11月)
1	【協議会】運行計画の承認(11月)
	認可申請(12月)
	第1弾実証実験の開始(4月~)
R 8	第2弾実証実験の準備(4月~3月)
	第2弾実証実験の開始(4月~)
R	第1弾評価(~8月)
9	第1弾本格導入(10月~)
Ř	第2弾評価(~8月)
10	第2弾本格導入(10月~)

◆参考(デマンド型交通チョイソコあきる野の概要)

項目	内 容
対象者	① 対象の地域に住所を有する小学生以上で、会員登録した方② 自身で(又は保護者や介助者の補助により)予約連絡、停留所への移動、車両の乗降ができる方※ 事前の会員登録(郵送又はインターネットでの申込み)が必要
運行日時	平日(土日祝日及び年末年始を除く。)午前8時から午後6時まで
予約方法 受付時間	① 電話:平日午前7時30分から午後5時30分まで ② インターネット及びスマートフォン:24時間受付
運賃	1人1乗車当たり300円 ※ 未就学児は無料、障がい者及び介助者(1人まで)は半額
運送事業者	横川観光株式会社
使用車両	トヨタハイエースワゴン(運転手を除く定員8人)